

広報誌

や よ い か い つ う し ん

# 弥生会通信

45号



ご自由にお持ちください



季節の移り変わりを感じ、  
五感を刺激しながらの  
リハビリテーション

病院内の中庭にはリハビリ庭園があり、理学療法士や  
作業療法士の介助のもと、コース別の散歩や季節の  
草花や野菜作りなどの園芸療法も行われています。

医療法人社団 弥生会

旭神経内科リハビリテーション病院

〒270-0022 千葉県松戸市栗ヶ沢789-1 電話 047-385-5566

神経内科 / 内科 / 精神科 / リハビリテーション科 <http://www.yayoikai.or.jp>



平素より、ご厚情を賜り厚く御礼申し上げます。さて、私儀このたび院長を退任し、後任には松井敏史医師が就任いたしました。私同様ご厚情ご支援を賜りますようお願い申し上げます。今後は理事長として引き続き、小金原地区及び松戸市内の認知症患者に対する早期発見、病状の改善を目指して参ります。高齢化率が最大となる2040年を念頭に置き認知症になっても長く住み続けられる街づくりに取り組んでいきたいと考えております。何卒変わらぬご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



医療法人社団 弥生会 理事長 旭 俊臣

2023年10月より、旭俊臣院長の後任として新たに院長を拝命いたしました松井敏史と申します。旭神経内科リハビリテーション病院では2013年から非常勤医師として物忘れ外来を担当してまいりましたので、ご存じの方もいらっしゃるかと思います。これまで前院長の卓越した指導力のもと、地域社会と共に旭神経内科リハビリテーション病院は歩んでまいりました。改めて、皆様と共に松戸の地域医療と介護に携わることには喜びを感じる一方、身が引き締まる思いであります。当院の使命は医療・介護連携、つまりキュアとケアを有機的に行い、地域に貢献することです。当院には、神経内科・精神科・老年科の各専門医がおり、認知症の方のいかなる困りごとにも対応できる体制を整えています。また、医療・介護連携を具現化すべく、院内の千葉県認知症疾患医療センター、関連施設の小金原地域包括支援センター、栗ヶ沢訪問看護ステーションが一体となって、物忘れでお困りの方に早期に関わりながら、いつまでも住み慣れた街で生活できるよう支援をします。今後も、皆様と一緒に旭神経内科リハビリテーション病院の使命を実現すべく、共に成長できることを願っています。どうぞ末永くよろしくようお願い申し上げます。



旭神経内科リハビリテーション病院 院長 松井 敏史



### 医療トピックス

## アルツハイマー病の新薬『レカネマブ』

本年9月、マスコミ各社から認知症の6割以上を占めるアルツハイマー病の新しい治療薬として『レカネマブ』が国内の承認を得たというニュースが流れました。それによると、これまでの認知症治療薬は、一時的な症状の改善を図るという位置付けでしたが、レカネマブは脳の神経細胞を死滅させるアミロイドベータという物質を除去することができ、認知症の原因に働きかける仕組みの『疾患修飾薬』と呼ばれる初の認知症薬という位置付けになるとのことです。臨床試験（治験）では、症状悪化を27%抑制し、進行を遅らせる効果が確認されている一方で副作用も報告されているそうです。また、このレカネマブを利用できるのは、軽度アルツハイマー病とその前段階の軽度認知機能障害の方に限られており、事前のPET検査等も必要になります。アルツハイマー病を根本から治すわけではありませんが、原因物質の除去が初めて成功したことで、同様の治療薬の開発が一層進んでいくと期待されています。また、早期の患者を対象にしたレカネマブが承認されたことで、早めの受診を意識する人が増えるのではないかと期待されています。



## 認知症リハビリの有効性について

現代は認知症患者の急増に伴い、認知機能の維持向上の必要性が増す一方です。単調な生活は認知機能低下の高リスクであり、高齢の方ほど『刺激的で退屈しない生活』を送る必要性が高いといえます。入院生活でも患者様が退屈しないように、いろいろな人と積極的にお話ししていただけるような工夫をしていますが、中でも楽しくリハビリテーションを進めていただけるよう努力をしています。認知症リハビリの具体的な技法としては、①毎日の日付を確認する見当識訓練 ②過去の出来事を想起する回想法 ③今日の出来事や明日のスケジュールを日記などに記載するなどといった方法が挙げられます。入院中でも、ご家庭でも出来ますので是非お試しください、続けていただければと思います。

リハビリテーション科 医師 徳永 貴久



## 新型コロナウイルス感染症 感染対策報告

未曾有のウイルス感染の拡大に、行政も病院も混乱することが多かったコロナ禍で、院内のルールも改正を重ねてきました。刻々と変わる感染の波や行政の方針に従って、感染委員会が中心になって感染対策に当たってきましたが、感染者の発生など一刻も早く共有したい情報については、院内の情報共有システムを利用して、職員間での共有を図りました。感染拡大直後から入院患者様への面会を中止とし、当院の特徴である離床プログラム『入院デイケア』も実施が難しい状況が続きましたが、これらの積み重ねによって今では制限付きながら面会も可能となり、リハビリも計画通りに行えるようになってきました。しかしながら、リハビリテーションをはじめとする患者様との距離が近い医療環境の中で、感染拡大を防ぐ対策は今後も継続が必要です。今後も皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

感染対策委員 看護師 福元 佐知子

2023年4月1日に入職した職員たちは、それぞれの配属先で力戦奮闘中です。

今回は2名の新入職員の近況をご紹介します。

認知症疾患医療センター 藤田 泰地

入職後、研修として4か月間病棟看護補助に従事しました。介護業務は全く経験がないところからのスタートでとても苦戦しましたが、先輩方のご助力も大きく、とても貴重な経験ができたと感じています。現在は精神保健福祉士としては単身での外来担当となり、まだまだ力不足を感じる場面も多くありますが、経験を糧に技術を身に付けていきたいと思っています。



リハビリテーション部 若宮 里空

作業療法士として入職して約半年が経ち、業務にも慣れ始め、研鑽を積む毎日です。学生の頃とは異なり、担当の患者様を受け持つことで、リハビリの重要さやチーム医療の大切さを痛感します。対人関係がとても重要だと感じており、言葉遣いやセラピストとしての発言に責任を持ち、良好な人間関係を築きたいです。今後も患者様の役に立てるよう励みたいと思います。



## ✿基本理念✿

1. 私どもは、患者様が家庭的な雰囲気の中で良質な治療・療養が受けられるように努めます。
2. いつも患者様が健康で生き生きと生活できるよう支援致します。
3. 職員一同は地域の皆様に良質な医療サービスが提供できるようたえず自己研鑽に努めます。



中庭の秋桜、びわ、なす



## ✿基本方針✿

1. 障害を持った患者様に、回復期、維持期および終末期リハビリテーションを提供して、生涯にわたって生き生きとした生活を送ることが出来るよう援助していきます。
2. 生命と人権を尊重し、患者様中心の医療サービスにつとめます。
3. 職員一同は研究、研修に励み、良質で心のこもった医療サービスを提供することをめざします。
4. 地域に開かれた病院として地域の方々の健康増進に寄与する活動に取り組みます。
5. 病院の健全な組織運営に取り組みます。

## 周辺地図



## 関連事業

### 旭神経内科

リハビリテーション病院

通所リハビリテーション

電話 047-385-5575

### 栗ヶ沢訪問看護ステーション

電話 047-385-1933

### 【松戸市から受託】

小金原高齢者いきいき安心センター

(小金原地域包括支援センター)

電話 047-383-3111

### 【千葉県から受託】

- 認知症疾患医療センター
- 東葛北部地域リハビリテーション広域支援センター
- 高次脳機能障害支援普及事業